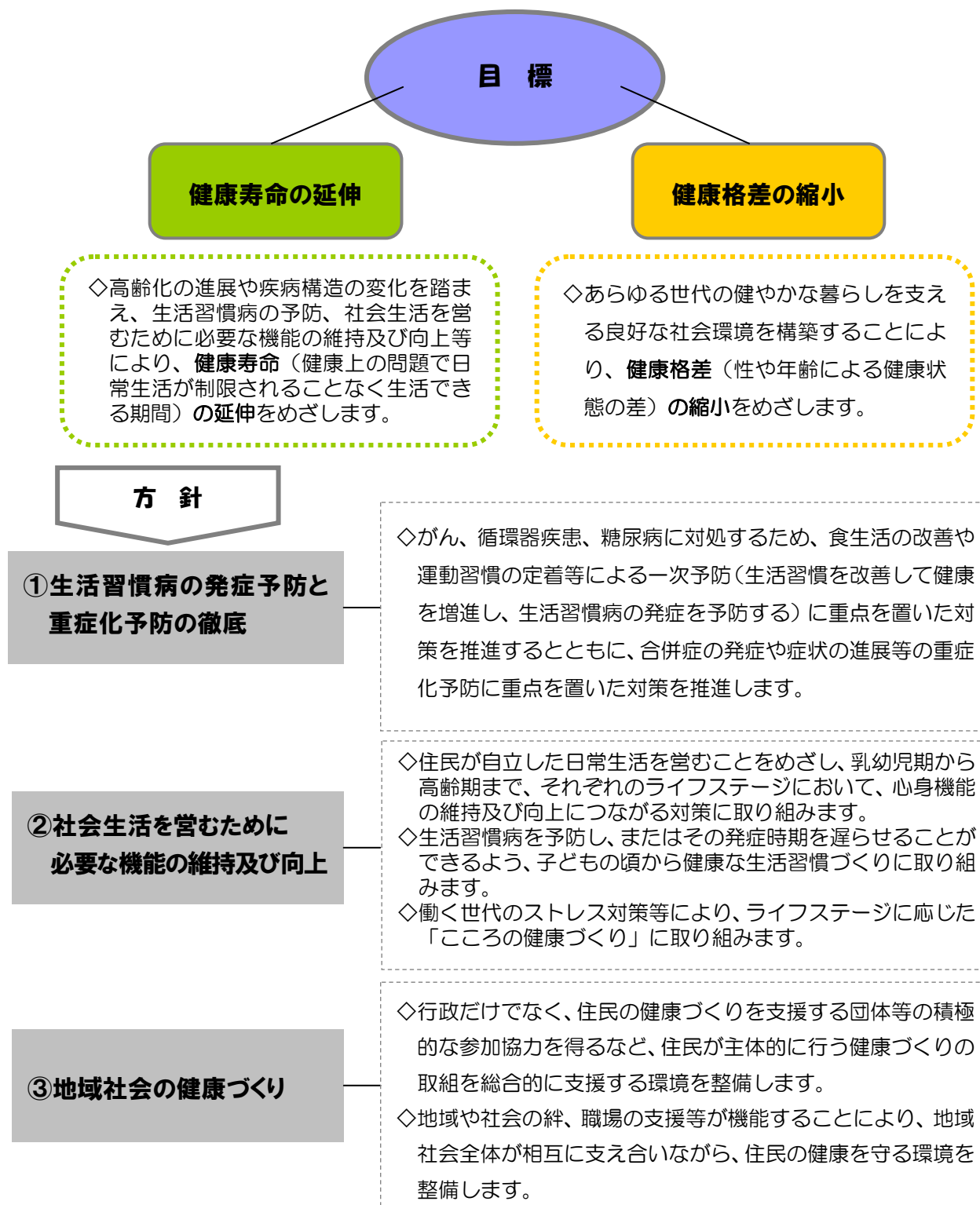


5 この計画がめざすもの

(1) 目標と方針



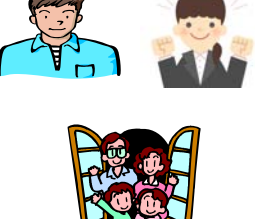
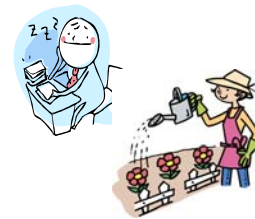

第1次計画の目標を継承するとともに、最終評価を勘案しつつ、国の健康日本21（第2次）を踏まえて、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目標と定め、以下の方針で推進します。



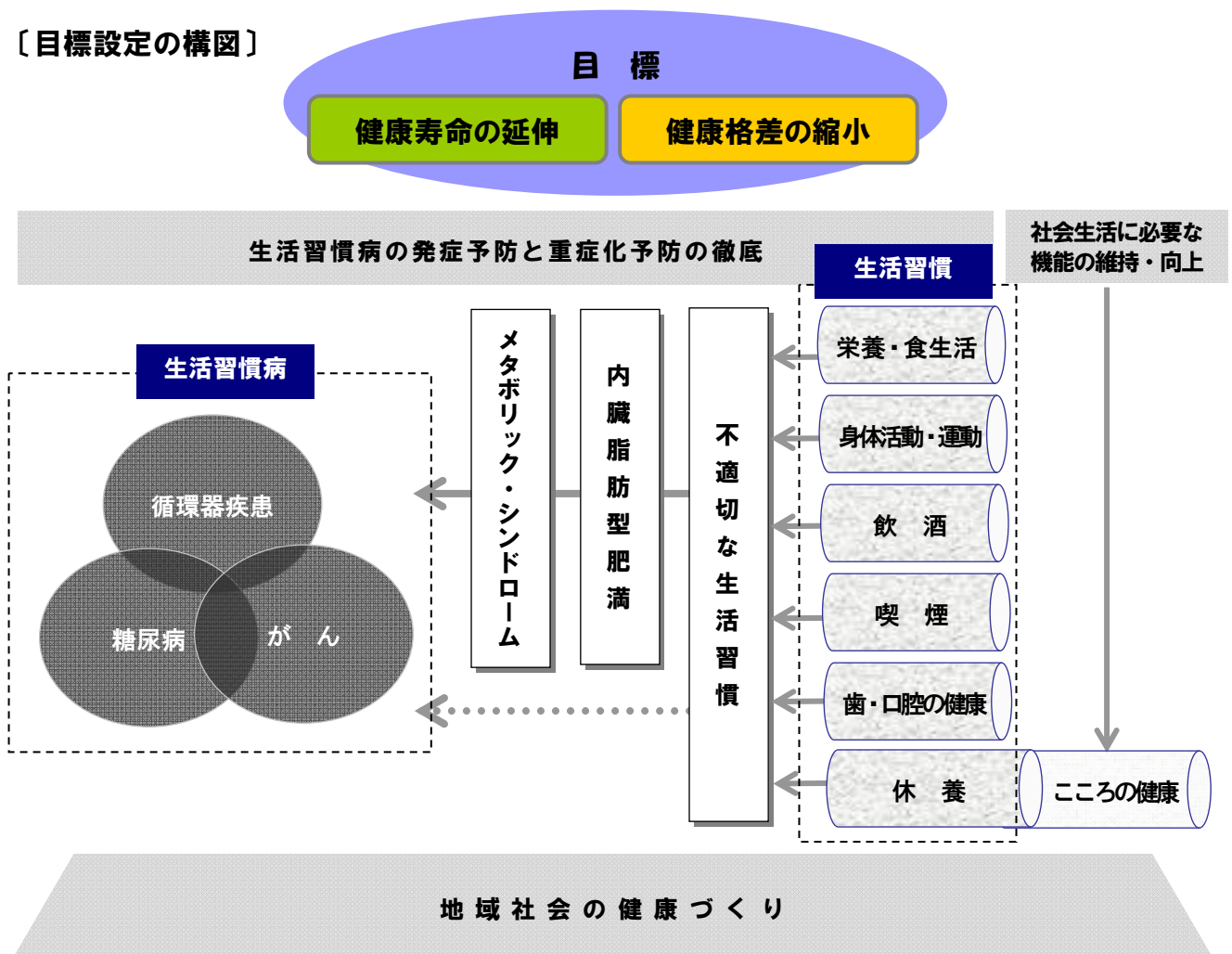
(2) 目標項目の設定

乳幼児期から高齢期までのライフステージ、性差等の特性やニーズ、健康課題等の把握を行った上で、概ね 10 年間で達成する目標項目を次のように設定し、計画的な取組を行います。なお、ライフステージの区分は第1次計画を継承することとします。

〔健康ながよ21のライフステージ〕

乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期
(0～5歳)	(6～15歳)	(16～29歳)	(30～64歳)	(65歳以上)
				

〔目標設定の構図〕



(3) 目標項目の全体像

		胎児(妊婦)	0~5歳	6~15歳	16~29歳	30~64歳	65歳以上	死亡	
			▼0歳		▼18歳 ▼20歳	▼40歳	▼65歳		
全体目標	◇健康寿命の延伸								
	◇健康格差の縮小								
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	生活習慣病	がん			●がん検診の受診率向上(子宮がん)	●がん検診の受診率向上		●75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	
		循環器疾患					●特定健診・保健指導の実施の向上 ●メタボ予備軍・該当者の割合の減少		
		糖尿病					●高血圧の改善 ●合併症の減少 (生活習慣病による年間新規透析導入患者数) ●治療継続者の割合の増加 ●脂質異常症の減少 ●糖尿病有病者の増加の抑制 ●血糖コントロール不良者の割合の減少		
		栄養・食生活	●適正体重の子どもの増加 ア 全出生数中低出生体重児の割合の減少 イ 肥満傾向にある子どもの割合の減少 ウ やせ傾向にある子どもの割合の減少 ●適切な量と質の食事をとる者の増加	●適正体重を維持している者の増加 ア 朝・昼・夜の三食を必ず食べている者の増加 イ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 ウ 野菜と果物の摂取量の増加 エ 食塩摂取量の減少			●低栄養傾向(BMI 20以下)の高齢者の減少		
		身体活動・運動	●朝・昼・夜の三食を必ず食べている者の増加 ●運動を習慣的にしている子どもの増加	●日常生活における歩数の増加 ●運動習慣者割合の増加			●ロコモティブシンドロームを認知している者の割合の増加 ●介護保険認定率の増加の抑制 ●足腰に痛みのある高齢者の割合の減少 ●外出する高齢者の割合の増加		
		飲酒	●妊娠中の飲酒をなくす ●未成年の飲酒をなくす	●生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少					
		喫煙	●妊娠中の喫煙をなくす ●未成年の喫煙をなくす	●成人の喫煙者の減少	●慢性閉塞性肺疾患の認知度の向上				
		歯・口腔の健康	●乳幼児、児童・生徒期のむし歯のない者の増	●過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加 ●歯周病を有する者の減少	●歯の喪失防止		●口腔機能の維持・向上		
		休養		●睡眠による休養を十分にとれていない者の割合の減少					
		社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上	●産後うつ傾向の者の割合の減少	●ストレスを常に感じている者の割合の減少		●認知機能低下ハイリスク高齢者の割合の減少	●自殺者の減少		
地域社会の健康づくり	□地域のつながりの強化 □健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている住民の割合の増加								